

ワークショップ 8

「高齢者消化器癌診療における化学療法と外科治療の現状と課題」

司会 渡邊 雅之（がん研有明病院消化器外科）

加藤 健（国立がん研究センター中央病院）

高齢化社会を迎え高齢者の消化器癌症例が急増している。高齢者は併存症や臓器機能・認知機能の低下により標準的な手術や化学療法が困難な症例が少なくない。また集学的治療戦略の中で十分な治療強度が確保できない場合もある。治療後の合併症や後遺症は QOL を低下させ、高齢者では社会生活の継続が困難となることも経験される。本ワークショップでは高齢者消化器癌治療の現状と課題を内科・外科双方の視点から広く議論していただきたい。